

都市再生整備計画 事後評価シート  
一宮地区

平成23年3月

愛知県豊川市

様式2-1 評価結果のまとめ

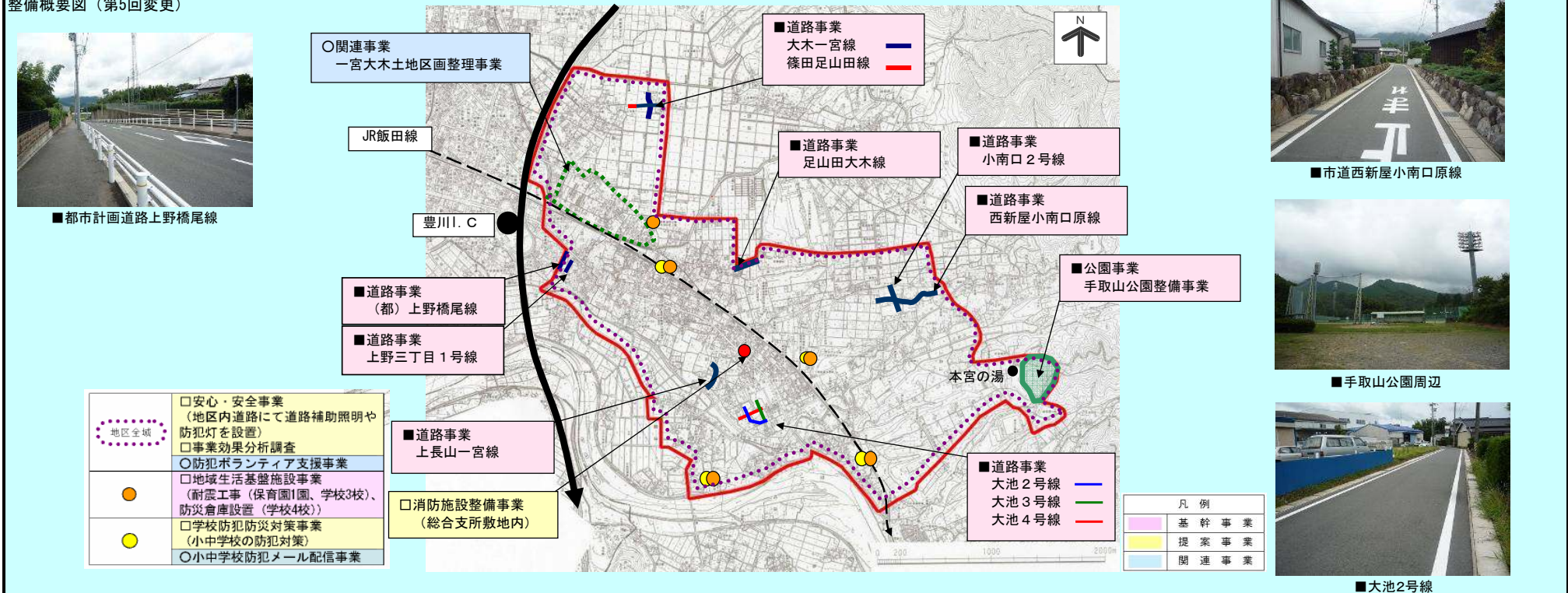
都道府県	愛知県		市町村名	豊川市		地区名	一宮地区		面積	802 ha			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	1,044百万円	国費率	0.403				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路事業(大池2号線、大池3号線、大池4号線、上長山一宮線、西新屋小南口原線、足山田大木線、大木一宮線) 公園事業(手取山公園)									
			提案事業	地域創造支援事業(学校防犯・防災対策事業、安心・安全事業、消防施設整備事業)									
			事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路事業(大池5号線)	大池2号線～5号線全体で事業内容を精査した結果、2号～4号線の整備で整備目的の達成が可能であると判断したため削除。		大池地区整備として、大池2号線、大池3号線、大池4号線を整備することで目標達成を図るため、数値目標は据え置く。						
		提案事業	地域創造支援事業(保育園耐震改修等事業)	地域生活基盤施設(地域防災施設)に移行。		事業区分の変更であるため、数値目標の変更は行わない。							
		基幹事業	道路事業(小南口2号線、上野三丁目1号線、上野橋尾線、篠田足山田線) 地域生活基盤施設(地域防災施設)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小南口2号線、西新屋小南口原線と同時に整備することで地域の安全性が増すと考え追加。</li> <li>・上野三丁目1号線：既存集落内の生活道路である本路線は幅員が狭小で消防、救急活動に支障があり、また排水施設等も不十分であるため、当該地区住民の安全性の向上に資する事業として新たに追加。</li> <li>・上野橋尾線：地区の課題である都市間動線の確保による合併後の速やかな一体化の促進のために追加。</li> <li>・篠田足山田線：地元調整及び詳細設計の結果、大木一宮線の整備に合わせ整備する必要があるため追加。</li> <li>・地域生活基盤施設(地域防災施設)：事業区分の変更による追加</li> </ul>		道路事業：『小目標2：安心、安全なまちづくりのための公共施設整備等の推進』に効果があるが当初設定した目標を達成するための追加であるため、数値目標は据え置く 地域生活基盤施設：事業区分の変更であるため、数値目標の変更は行わない。							
		提案事業	事業活用(事業効果分析調査)	都市再生整備計画事業によるまちづくり効果の分析を行い、今後のまちづくりに活かすため追加。		影響なし							
交付期間の変更		当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
						目標年度	モニタリング	評価値	達成度				
	指標1	都市公園整備面積	m <sup>2</sup> /人	1.4	H17	7.2	H22	1.4	7.3	○	あり なし	手取山公園を整備したことで、目標値の達成に繋がった。これにより、自然とふれあい、人とふれあいが健康づくりのできる施設整備による観光・交流環境の向上が達成されたと考えられる。	平成23年4月
	指標2	エリア内人口	人	12,003	H17	12,500	H22	12,224	12,390	△	あり なし	他地区が増加トレンドの頭打ち、または減少トレンドに転じるなかで、大きな増加率を示していることから、本計画により実施した基盤施設の整備や、各種防災・防犯対策等の実施が周辺の生活環境の向上に寄与し、定住人口の増加に繋がったと考えられ評価できる。	平成23年4月
指標3	歩行者にとっての道路の満足度	%	23.3	H17	25.0	H22	28.9	34.3	○	あり なし	地区内の道路の整備(拡幅、歩道設置、交差点などの改良)の実施や、道路照明灯や防犯灯の設置などの安全・安全対策が、歩行者にとっての道路の満足度の増加に繋がったと考えられる。	平成23年10月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
						目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1				
	その他の数値指標1	居住環境に対する住民満足度	%	34.0	H17				40.7			一体的な基盤、施設整備の結果、安全で安心して生活できる居住環境が形成され、満足度の増加に繋がった。	平成23年10月
その他の数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路事業により狭隘道路の解消や、交差点の改良が図られ、安全安心街づくりが促進されている。また、旧豊川市と旧一宮町の都市間動線が確保され、移動がスムーズにできるようになっている。</li> <li>・手取山公園整備を通じて市民参加が促進され、新たなまちづくり活動が実施され始めている。</li> <li>・手取山公園の完成により新たな来街者が発生し、本宮の湯などへの波及効果が期待される。</li> <li>・防犯灯の設置や、小中学校の防犯関連事業の実施により、市民意識調査の内、旧一宮町内小学校区区域内の防犯に関する項目が改善されている。</li> <li>・旧豊川市との合併後、旧豊川市との整備レベルの均等化のため、防犯灯や道路照明灯が集中的に設置され、地域住民から“まちが明るくなった”との声が聞かれるようになった。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等								
	モニタリング	中間年にデータ収集を実施し、事業の進捗状況や指標の達成状況について整理したモニタリングシートを作成した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●		モニタリング同様に、円滑な事後評価の実施を目指し、データ収集を実施する。		
	住民参加プロセス	市民参加による手取山公園の計画検討	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●		手取山公園の整備後に向け、地域とともに維持管理等を行う「市民参加プログラム」の具体的な検討を行っていく。		
持続的なまちづくり体制の構築	手取山公園における市民参加プログラムの検討 ・防災・防犯をテーマとしたボランティア・市民団体の活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		●		検討を行った「市民参加プログラム」に基づき、地域と共に公園の維持管理を進めていくとともに、緑とふれあうイベント等の実施を行う。活動を続けている市民団体に対するサポートを継続するとともに、新たな市民団体の活動促進に向けた支援を検討する。			

## 様式2-2 地区の概要

### 一宮地区(愛知県豊川市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 憩い・ふれあい、そして安心・安全で健やかなまちづくりの推進 目標1 自然とふれあい、人とふれあいながら健康づくりのできる施設整備による観光・交流環境の向上 目標2 安心、安全なまちづくりのための公共施設整備等の推進	都市公園整備面積	m <sup>2</sup> /人	1.4	H17: 7.2, H22: 7.3
	エリア内人口	人	12,003	H17: 12,500, H22: 12,390
	歩行者にとっての道路の満足度	%	23.3	H17: 25.0, H22: 34.3

### 整備概要図 (第5回変更)



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>手取山公園の整備により、自然を生かした公園機能が確保され、レクリエーション機能の向上が図られた。また、整備の過程で市民参加が実現したことによりボランティア団体等による維持管理活動等が発生した。引き続き活発にボランティア活動が行われるよう支援が必要である。</li> <li>道路事業を中心に都市基盤整備が促進され、狭隘道路の解消や、交差点の改良等が図られ、交通安全対策、防犯、防災対策が進んだ。今後は地域住民と連携して適切に維持し、価値を下げないことが必要である。</li> <li>保育園、小中学校の耐震化が図られ、子どもの集まる施設の安全性が高まった。また、防犯対策事業により、各施設が安心して利用できる施設になったが利便性を更に高めるため、利用者の意見等を参考に必要に応じて施策を講じる必要がある。</li> <li>大木地区における安全安心な生活環境づくりの推進が必要である。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>手取山公園の公園環境の維持を図るとともに、市民団体、ボランティア団体等の活動を支援する。また、来園者の集客を図るためのPR活動や緑とふれあい緑をPRする拠点としての活用、健康増進のための市民活動の実施等を行う。</li> <li>事業によって整備促進された都市基盤について、地域住民と連携し適切に維持するとともに、周辺状況の変化に合わせて必要に応じ、改良を行う。</li> <li>耐震化や、防犯対策により各施設の基礎的な機能は向上しているため、それらの適切な維持管理と、利用者による意見感想等を参考に必要に応じて施策を講じる。</li> <li>大木地区において、狭隘道路の解消、排水対策等の公共施設改善を総合的に推進するとともに土地の有効利用を図り安全安心な生活環境を整える。</li> </ul>